



つなぐ、
はぐくむ。
そして
未来へ。



東日本大震災支援活動記録誌

MESSAGE from

KITAKYUSHU



北九州市長

北橋 健治

KENJI KITAHASHI

はじめに

平成23年3月11日、未曾有の大災害であった東日本大震災が発生してから、10年を超える年月が経過しました。改めて、犠牲になられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された全ての皆様へ心からお見舞い申し上げます。

被災地では、住宅の再建や道路等の公共インフラ事業の整備が進み、復興に向けた歩みは着実に進められています。その一方で、被災者の心身のケアを始めとする支援等まちの復興へ向けては、まだ多くの課題が残ると聞いております。被災された皆様が、一日も早く以前の生活に戻ることを願っています。

本市は、被災地の日も早い復旧・復興のため、発災直後から官民が一体となり様々な支援を行いました。行政の支援としては、発生の翌日から令和2年度末まで、短期派遣や中長期派遣を行い、4県18市町の被災自治体に延べ601人の職員派遣を行いました。

本市の支援として特徴的なものは、専用デスクの設置と災害廃棄物の広域処理でした。岩手県釜石市への支援に当たり、全国的にも珍しい取組みとして、現地に「北九州市・釜石デスク」を設置し、職員を常駐させ、釜石市のニーズを的確に把握することで、復興の段階に応じた支援を行い、復興を後押ししました。また、災害廃棄物の広域処理については、市議会の全会一致による決議の下、受入れに当たり安全性に関する検討などを行い、宮城県石巻市の災害廃棄物を受入れ、焼却処理を行いました。

派遣職員は、被災地の皆さんと共に復旧・復興に取り組んでまいりました。この支援を通じて、復旧・復興業務に携わるだけでなく、現地に行かなければ分からない課題や教訓を学び、住民の声に触れることで、多くの経験を積みました。

近年では、想定外と言われる自然災害が毎年のように全国各地で発生しており、災害が比較的少ない本市においても他人事ではありません。この10年間に及ぶ職員派遣を通じて、そこで得た貴重な経験を本市の未来に活かすことが必要であると感じ、記録誌の作成に至りました。

記録誌を通じて、東日本大震災における本市の被災地支援の経験から得た様々な教訓やノウハウを継承し、本市の災害対応力の向上、人材育成など、大規模災害の備えとしてまいります。

令和4年3月

北九州市長 北橋 健治

CONTENTS

東日本大震災支援活動記録誌 目次

はじめに（北九州市長挨拶）	001
---------------	-----

第1章 東日本大震災について

1-1 地震の概要	006
1-2 被害状況	008
1-3 被災者支援の状況	010
1-4 東日本大震災からの復興の進捗	011

第2章 北九州市の支援活動

2-1 総括表	014
2-2 初動・緊急対応期における支援活動	016
2-2-1 地震の発生及び本市の状況	016
2-2-2 災害発生後4日間のタイムライン	016
2-2-3 国等の要請による緊急対応のための職員派遣 《レポート：緊急消防援助隊（航空部隊）/応急給水支援/保健活動》	017
2-2-4 救援物資の提供 《レポート：救援物資による支援活動》	030
2-2-5 その他の緊急対応	036
2-2-6 東日本大震災支援本部設置	036
2-3 応急期・復旧期における支援活動	040
2-3-1 国等の要請に基づく職員の派遣 《レポート：応急仮設住宅建設準備支援/下水道支援/文化財レスキュー活動/ り災証明書発行業務支援/福岡県こころのケアチーム/放射線被ばく量の測定業務》	040
2-4 被災者支援	062
2-4-1 被災者の受け入れ（『絆』プロジェクト北九州会議）	062
2-4-2 産業分野での支援（ものづくりの絆プロジェクト）	068
2-4-3 就労支援	068
2-4-4 NPO、ボランティアの支援活動	069
2-5 北九州市議会の支援活動	070
2-6 災害廃棄物の処理	072
2-7 釜石市への支援	082
2-7-1 顔の見える1対1の支援への変換	082
2-7-2 被災地の状況に応じた職員の短期派遣 《レポート：避難所運営支援/災害廃棄物処理業務支援/戸籍・住民票受付・発行業務支援/ 選挙事務支援/住民税申告受付業務支援》	084
2-7-3 北九州市・釜石デスクの開設 《レポート：北九州市・釜石デスク》	104

2-7-4 職員の中長期派遣について	112
2-7-5 釜石市の復旧・復興事業について	116
2-7-6 本市職員が従事した主なインフラ整備事業	118
2-7-7 本市派遣職員の釜石市での10年間の歩み 《レポート：都市計画/区画整理/保健活動/復興住宅建設/用地買収/漁港整備》	124
2-8 北九州市と釜石市の「鉄の絆」	140
2-8-1 市民・行政が一体となった支援活動、交流事業	140
2-8-2 釜石市の復興状況 釜石市からのメッセージ	147 155

第3章 被災地の支援経験・ノウハウの利活用

3-1 被災地支援に関する組織へのアンケート	159
3-1-1 アンケート実施内容	159
3-1-2 アンケート結果	160
3-2 被災地支援から得た成果【被災地支援】	170
3-2-1 支援マニュアルの作成（保健師活動、下水道災害復旧）	170
3-2-2 被災地の支援経験者・研修受講者のデータベース化	175
3-3 被災地支援から得た成果【市政へのフィードバック・還元】 《レポート：上下水道局/教育委員会》	176
3-4 被災地支援に関する職員へのアンケート	181
3-4-1 アンケート実施内容	181
3-4-2 アンケート結果	182
3-4-3 派遣職員からの教訓を踏まえた課題と提案	190

第4章 資料編

4-1 東日本大震災に伴う北九州市の支援状況	196
4-2 東日本大震災支援・派遣職員一覧	200
4-3 ものづくりの絆プロジェクト実績	211
4-4 被災地への様々な支援の取組み一覧	216
4-4-1 平成23年度（H23.3.11～H24.3.31）	216
4-4-2 平成24年度	236
4-4-3 平成25年度	241
4-4-4 平成26年度	244
4-4-5 平成27年度	245
4-4-6 平成28年度～令和3年度（11月末現在）（H28.4.1～R3.11.30）	246